

E S D 通信 No. 2 平成27年10月8日発行

— ふるさとを愛し未来を拓く子の育成をめざして —

新居浜市一宮町一丁目5番1号 学校教育課
tel (0897) 65-1301

E S D 通信 No. 1はお読みいただけただけでしょうか。新居浜市の小中学校やその保護者の皆様、また各コンソーシアム(連合体)の団体の皆様にE S D推進における取組状況をお知らせし、少しでも多くの方にE S Dのことを知っていただきたいとの思いで作成しております。今回は8月27日(木)、ユネスコスクール・E S D研修会 in 大牟田において、多喜浜小学校の丸山教諭が実践発表(分科会)を行った様子をより詳しくお伝えするとともに、10月7日(水)に実施された「第2回E S D推進事業協議会」の報告をさせていただきます。

第3分科会「世界遺産・地域学習」報告

(ユネスコスクール・E S D研修会 in 大牟田にて)

多喜浜小学校では、「多喜浜塩田を未来に伝えよう」というE S Dテーマのもと、地域をベースとした持続可能な社会の担い手を育てる教育を実践しています。E S Dの6年間の学習プログラムの目標は、次の通りです。

- ① 地域への誇り、地域の一員としての自覚を育てること。
- ② 多くの人々と関わりながら、問題を解決する力を身に付けること。
- ③ 他の学校関係団体との学習の交流を通じて、コミュニケーション能力を育成すること。

多喜浜塩田の学習は主に5つのプログラムから成り立っています。

- ① 塩田ウォーク
- ② 塩田の歴史・人物についての学習
- ③ 塩づくり体験
- ④ 塩について調べる学習
- ⑤ 多喜浜の塩を広める学習



塩田学習と並行して、塩田に関連した文化の継承活動や多喜浜の塩を広める活動も行っています。

- ① 「塩田讃歌」・「ソルティちゃん音頭」
- ② 多喜浜焼の制作
- ③ 各種イベントへの参加による情報発信
- ④ マスコミへの積極的発信



一番未来に伝えたいこと

多喜浜塩田精神文化「かしよい」の継承

入浜式塩田の過酷な重労働の中から生まれた助け合いの精神文化。大変な人に、力を貸し、助け合うという精神文化を受け継ぎ、守り育てていけるように、子どもたちを育成していきます。



多喜浜小E S Dの成果と課題

1 成果

- 学習を通して、子どもたちと地域の人々との繋がりが深まりました。
- 多喜浜のことを知ることで、「多喜浜が好き」と言える子どもが増えました。

2 課題

- 塩田学習の継続によって、学習内容がやや固定化されてきます。子どもたちの実態や地域・保護者のニーズに応じて、学習内容や方法を改善していく必要があります。

この発表を受け、マンネリ化を防ぐ方法や小・中連携の在り方について、意見交換がありました。また、「地域を知る」ことは「地域を守る」ことに繋がる素晴らしい活動であるとのことのご助言をいただきました。新居浜市を代表して、堂々と立派な発表を行ってくださった多喜浜小学校と丸山先生に感謝いたします。

第2回E S D推進事業協議会報告

- 日時 平成27年10月7日(水) 14:30~16:30
- 場所 新居浜市役所5階 大会議室
- 参加者 近森憲助(鳴門教育大学副学長)、竹下浩子(愛媛大学准教授)、竹内よし子(えひめグローバルネットワーク代表)、木村英理子(学校図書館支援員)、溝渕雅子(四国E P O)、千葉昇(愛媛県総合科学博物館学芸課長)、早瀬伸樹(新居浜工業高等専門学校教授)、藤野卓郎(新居浜ユネスコ協会事務局長)、上田健二(環境省よりオブザーバーとして)、足立 晃(環境省よりオブザーバーとして)、阿部義澄(教育長)、日野優子(小学校校長会E S D担当)、横井敏行(中学校校長会E S D担当)、関 福生(市民部長)、高橋正弥(学校教育課長)、坂本睦美(学校教育課)、森本芳樹(学校教育課)、井上美樹(E S D担当指導主幹)
- 主な協議内容
 - 教職員対象の事前アンケートの結果より小・中学校の教員のE S Dに対する意識には若干差があった。そのため今後小・中学校で支援の方法を変える必要がある。また、児童生徒や保護者へのE S Dへの浸透はまだ十分でなく今後の課題である。
 - 学校図書館の支援においては、小学校では環境整備が進み、授業での活用が盛んになってきているが、中学校は学校司書の配置がないため、小学校ほど進んでいない。
 - 鳴門教育大学院生との交流は教育実践フィールド研究として進めており、教職を目指す学生にとって貴重な経験となっている。また、受け入れ側の学校にとっても良い刺激となっている。
 - 今後、各コンソーシアムや地域との連携の在り方、また、四国の中でE S Dを推進する仕組み作りをどのようにしていけばよいか課題である。そのために企業への参加の呼びかけや広報活動の活性化、公民館や市長部局との連携を図っていくことが重要である。小・中学校長からも企業との連携や高等学校との連携の必要性について意見が出された。
 - 2月14日(日)、E S D発表会を開催する。市P T A連合研究大会とコラボして開催することによって、「あいさつ日本一」をめざす新居浜市教育委員会の取組を保護者に理解してもらうとともにE S Dに対する認識を深めてもらう機会としたい。新居浜小学校、垣生小学校、泉川中学校による実践発表やふるさと学習奨励賞の発表会、「こころのことばコンクール」の発表会等を行う予定である。

さまざまな立場の方から、ご意見をいただき、大変有意義な会となりました。お忙しい中、お集まりいただき、ありがとうございました。